

すてっぷあっぷ

男女共同参画推進市民委員会では、女性も男性も自分の意思で社会に参画する機会が確保され、やさしく支え合い、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現に向けて活動をしています。

♣ 男女共同参画推進講演会を開催しました

平成 25 年度裾野市男女共同参画講演会が、2 月 26 日（水）文化センター多目的ホールで開催されました。



講師に「静岡大学教育学部教授 池田恵子さん」をお招き

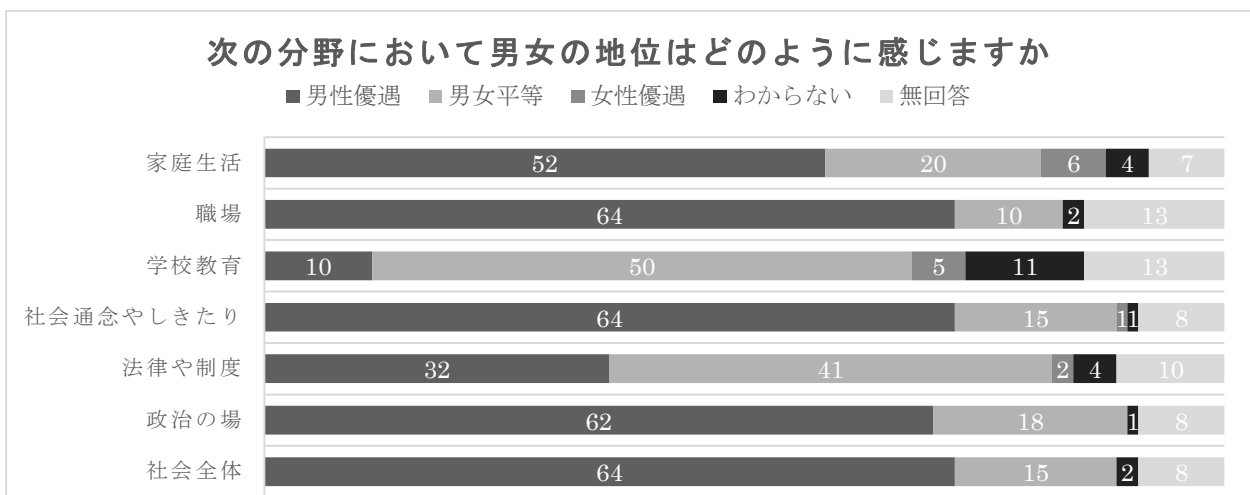
して『その時、あなたはどのようにするの!?～災害に強い地域づくりのために～』のテーマに沿って、3 年前の東日本大震災に基づき、

1. 立場や性別による被災経験の違い 2. 多様な人々への配慮の視点 3. 地域での取り組みに向けて男女が共に活動する地域防災の事例等の経験や対策について話していただきました。1 時間 30 分という短い時間でしたが、とてもためになる講演会だったと思います。最後に行われた抽選会はたいへん盛り上がり好評でした。（有）



♣ アンケート結果

講演会の参加者に男女共同参画について、アンケートを実施しました。



結果を見ると、学校教育や法律や制度については「男女平等」と感じているようですが、他の分野においては、「男性が優遇されている」と多くの方が感じていることがわかります。今後、私たちの意識を少しずつ変えていくことで様々な可能性が増えていくのではないのでしょうか。アンケート結果の「男女平等」の割合が少しでも増えていくよう、市民委員会として、男女共同参画の推進活動を進めていきます。



委員の研修

我々市民委員の理解の向上を目的に、静岡県男女共同参画課 諸星課長代理による研修会が市役所会議室において開かれました。

平成 23 年度に策定された、第二次静岡県男女共同参画基本計画の概要を中心に、県内各地域の取り組み等についての解説がありました。

その中で、私に最も興味深かったのは、「男女共同参画社会づくり宣言推進事業」と、「ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト」でした。

前者の取り組みについて、裾野市ではまだまだ多くの事業所に浸透しているとは言い難く、我々市民委員に何が出来るかを考えさせられました。後者については、防災時、男女それぞれの視点からの対応の重要性が指摘されました。

この二つのテーマは本年度、市民委員が取り組んだテーマにまさに一致した内容であり、我々市民委員の活動に対し、大きな推進力になり、又事業間が有機的に繋がった取り組みができたという意味で、非常にタイムリーでした。(精)



男女共同参画社会づくり宣言事業所訪問

男女共同参画社会づくり宣言推進事業とは、静岡県で実施している、男女共同参画社会に取り組む事業所・団体を応援するための事業です。子育てや介護、ワーク・ライフ・バランスなど男女共同参画社会づくり推進を積極的に取り組むことを宣言した事業所等を県が登録し広くPRをしています。裾野市には、宣言事業所が9件あります。

その中から、1月29日「ヤマト運輸(株)静岡主管支店」の協力を得て、市民委員が訪問し、お話を伺いました。多くの荷物を扱い、たくさんの人々が働いているこの職場はとて整然と整理され、働くには気持ちの良い環境であるというのが第一印象でした。

社屋に入り、課長さんを始め、静岡県内のヤマト運輸(株)の中でもわずかしかない女性管理職の方、実際に今、子育て真っ最中の方の職場での就業時間等労働状況についていろいろなお話を生の声としてお聞きすることができました。

老若男女問わず、たくさん活躍できる仕事があるということ、女性がとても元気でイキイキとした職場であるということがわかりました。子育てが一段落したらまたフルタイムで頑張りたいという気持ちにさせる素敵な会社であると思いました。人と人とのつながり、お客様へのサービスに日夜努力されていることがよくわかりました。一步一步でもこのような事業所が増えることを願わずにはられません。(岩)



子育てが一段落したらまたフルタイムで頑張りたいという気持ちにさせる素敵な会社であると思いました。人と人とのつながり、お客様へのサービスに日夜努力されていることがよくわかりました。一步一步でもこのような事業所が増えることを願わずにはられません。(岩)

会長からひとこと (会長 村田典子)

今年度は、新しい委員も加わり市民委員会が主体となって企画・運営を行ってきました。例えば、ヤマト運輸(株)への訪問など今までにない活動を自分たちで考え、実施してきたことに充実感や達成感を感じ、市民委員も成長できたのではないかと思います。

